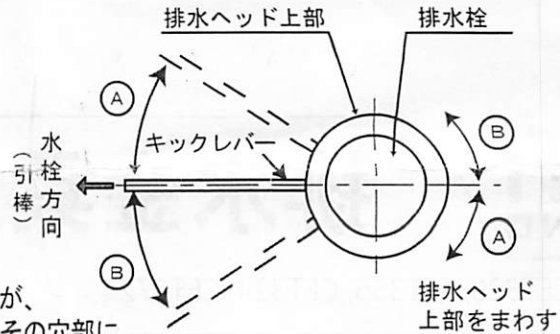


## 【排水ヘッドの位置合せ】

- 排水金具を洗面器に組み込み後、キックレバーが水栓方向(引棒)を向いていない場合、排水ヘッド下部をゆるめる方向に戻して合せてしまうと、漏水の恐れがあります。その場合は下記要領にて位置合わせを行ってください。

1. 排水ヘッド下部を回して、排水ヘッドを締めます。この時、水栓方向(引棒)とのズレ(A, B)を確認し、一旦排水ヘッド下部をゆるめます。
2. 排水ヘッド上部をさきほどの水栓方向(引棒)とのズレ分だけ回して位置調整します。
3. 再度、排水ヘッド下部を締込み、キックレバーが水栓方向(引棒)に向く様に施工してください。

※締付けは、手締めで強固に締付けることでも十分ですが、排水ヘッド下部のキックレバーとブッシュを外して、その穴部にドライバー等を差込んで回すと作業が楽になります。

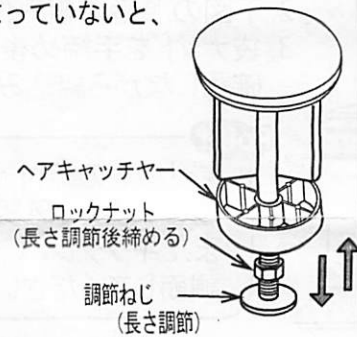
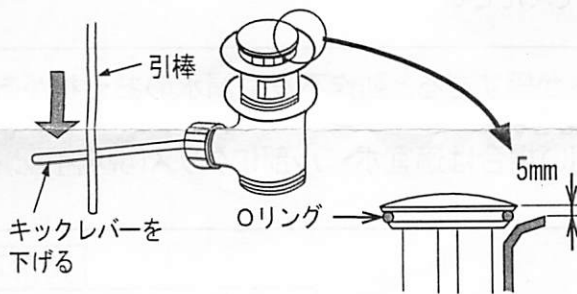


※CET355のみキックレバーが使用者側に向くように取付けて下さい。

## 【排水栓の長さ調節】

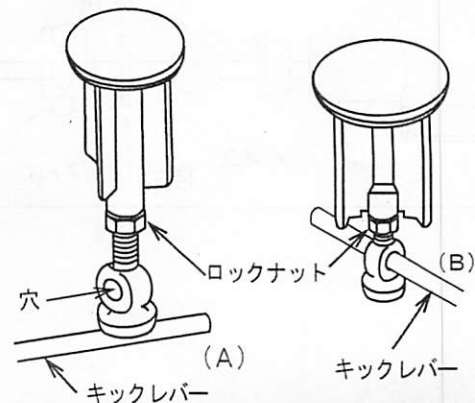
- 排水ヘッド部はセットする洗面器によって排水栓の長さを調節する必要があります。

1. 排水栓が開(キックレバーを下げる)の状態、排水栓と排水フランジの間隔が5mm程度になるように調節ねじを調節し、ロックナットを締めてください。ロックナットがしっかり締まっていないと、使用中に緩み、排水栓の作動不良となりますので必ず実施してください。



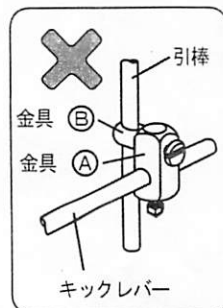
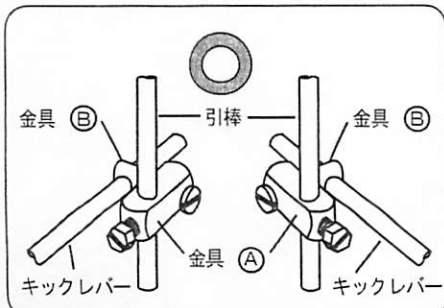
2. 調節ねじ下部が穴付のタイプは、キックレバーを穴に通さずに、キックレバー上に載せるようにしてください。(A)  
(お客様が排水栓を取外して掃除する場合に、ねじが緩む恐れがあるため。また、キックレバー上に載せることで掃除の際の排水栓の取外しが簡単になります。)

ただし、引棒が壁に当たる等の場合は穴に通してセットすると、引棒の動きを制限するため、壁に当たる等を防ぐことができます。(B)



## 【連結金具の取付け方法】 ※CET355は不要。

- 金具 (A) にポップアップ引棒、金具 (B) にキックレバーを挿し込んでください。※引棒またはキックレバーを引き寄せて接続してしまうとポップアップ操作が重くなりますのでご注意ください。



# 排水金具施工上の注意

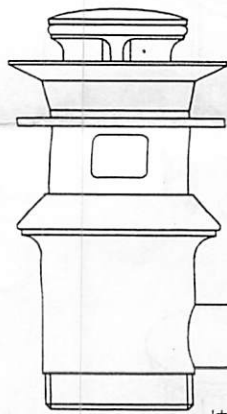
対象品番:CET320, CET355, CET324, CET372



出荷時は仮組みの状態です。  
必ず下記要領にて、確認及び施工をお願いします。

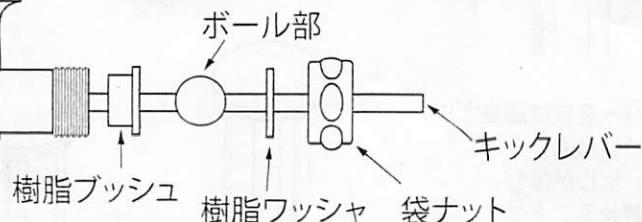
## 【キックレバー部 袋ナットの締め付け】

1. 袋ナットを緩めて、中に樹脂ワッシャがあることを確認してください。
2. 下図の順番に組み付いている事を確認してください。
3. 袋ナットを手締め後、スパナなどを使用して増し締めしキックレバーの動きを確認しながら締込み量を調節してください。



### Point

袋ナットの締付過ぎや締込みが緩すぎると動作不良や漏水のおそれがあります。  
適宜調整し、確認を行ってください。  
またキックレバーの動きが固い場合は適宜ボール部にグリス(現場手配)を塗布し  
調節してください。



1071T | 2016.09

※当施工説明書記載の仕様は改訂する場合がございますのでご了承ください。

セラトレーディング株式会社  
〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3